

## 第26回青年対策交流集会に参加して

令和8年2月21日から23日までの3日間、豊橋シーパレスにて第26回青年対策交流集会に参加させていただきました。

日本は今年で戦後81年、全港湾は今年で80周年を迎えます。戦後の焼け野原の何も無い所から結成し今までを築き上げてこられた先輩方があって自分たちはいます。ですが高市政権では憲法改正、戦争をする為の準備へ足をかけています。

日本は船での貿易輸出入は99.6%と、船がなければ生活できない状況にあります。戦争が始まれば真っ先に狙われるのは港湾、空港、原子力発電所です。

未来へ繋ぐ為にはどうしたらいいのか、どう行動していくべきか、鈴木中央委員長のオルグで再度思わされました。断固戦争反対です。

松永中央書記長からは各協定について、36協定、産別協定を分かりやすい資料のもとに講義を受け第一に協定は組合員を守る為の協定と、熱いオルグを受けました。

樋口中央執行委員、千葉中央執行委員からは災害についての講義を受けました。

資料では痛ましい写真を拝見しました。そして、災害時には「実際に現地へ足を運ぶのが早い。」「一番に必要なのは水。」だと学び、体験をもとにされた話しを聞く貴重な機会となりました。

分散会では災害時にどこへ避難するか決めておく、または仕事での避難訓練の在り方についての意見交換、協定については若者への認知度、知名度が下がっていることへの懸念。人任せにしているから若者の知識が追いついていない。理解を促す為、わかりやすい動画等で知識が得られるようななどの意見でまとまりました。

最後に、各地方の方達と交流ができて有意義な3日間を過ごせました。

参加するに通じてご協力いただいた皆様ありがとうございました。

関東地方横浜支部日本高速分会  
青年部員 澤本剛直